

University of Shizuoka Magazine

 静岡県立大学広報誌

# はばたき

No.146  
2023.February

CONTENTS

p01 特集① 小鹿キャンパスMAP

p05 特集② OB・OGインタビュー 鈴木千草さん

p07 CAMPUS TOPICS

- ・地震による大きな被害が出たトルコを支援するため募金箱を設置
- ・産業廃棄物処理施設見学会「有機性廃棄物からの高付加価値堆肥製造と持続可能な資源循環」
- ・グローバル地域センターの「自然災害研究部門」がスタート
- ・山田静雄特任教授がスタンフォード大学公表の「世界のトップ2%科学者」のリストに掲載
- ・本学初の試み:DXを見据えたアクティブラーニング型COIL大学院講義
- ・薬学部4年生を対象としたワクチン接種手技の実習
- ・6言語の終末期(もしものとき、エンディング)ケア「みせてお話し」ノートを作成
- ・<カリヨン書店×県大生×茶学総合研究センター>草薙駅前イベントを開催
- ・「リレー・フォー・ライフ(RFL)・ジャパン2022静岡」を開催
- ・本学学生が焼津産カツオを使った受験生応援メニューをホテルと共同開発
- ・小鹿キャンパスでウクライナ&ロシア こども画展を開催
- ・国際学生寮「異文化交流イベント～緑茶の美味しい淹れ方と飲み方を知ろう～」を開催
- ・剣祭、橘花祭レポート
- ・令和4年度学位記授与式、令和5年度入学式のお知らせ

p14 Beyond the World ～静岡県立大学の国際交流～

p15 研究室訪問  
・国際関係学部 米野みちよ教授

p17 活躍する卒業生 薬学部  
活躍する在学生 短期大学部

p18 産学民官連携

p19 はばたき寄金からのお知らせ

p20 図書館だより  
・図書館で一次情報をたぐり寄せ、思考過程を磨く  
・私の一冊の本

p21 奨学金授与式

p22 Information  
・教員・学生の受賞  
・教員人事  
・学長表彰  
・おそろ基金寄附者ご芳名

静岡県立大学小鹿キャンパスは、草薙キャンパスから約5km離れたところに位置し、近隣には静岡済生会総合病院や商店街があり、学生が暮らしやすい環境です。今回はそんな小鹿キャンパスとその周辺地域の見どころを学生広報大使の戸塚さんと赤澤さんに紹介させていただきます。



# おしか 小鹿キャンパス 周辺マップ

小鹿キャンパスの周りにはステキな場所がいっぱい！  
学生に聞いたキャンパス内のおすすめスポットや、  
おいしいお店を紹介します。  
あなたのお気に入りの場所を探してみてください！

どんな所があるのか  
わくわくするね。  
それではしゅっぱーつ！



県大生 & 短大生に  
聞きました！

## おいしい お店



**01 松永豆腐店**  
豆乳を使ったアイスやドーナツも売っているお豆腐屋さん。



**02 小鹿屋菓子舗**  
小鹿商店街の中にある老舗の和菓子屋のお店。小鹿カステラやわらび餅が人気。



**03 肉のいちの**  
ローストチキンや焼き豚などのお惣菜もおいしい精肉店。



**04 PATISSERIE 46**  
季節によって様々なフルーツを使うタルトとカヌレが人気のスイーツ屋。



**05 からあげ大ちゃん**  
ボリュームたっぷりで学生も満足できるからあげ専門店。



**06 ミスター太郎**  
大学の先生もよく訪れる、手作り餃子が自慢のお店。



## Recommended Spots! 小鹿キャンパス内 おすすめスポット



空きコマはアトリウムのソファでまったり過ごします。カメのジュンちゃんがかわいくて癒されます。



図書館で好きな曲の楽譜を借りて練習室でピアノを弾きます。



体育館と看護学部棟の間に設置されたベンチ。周りに草木が生えていて、一息つくのにオススメです。



広くて明るい図書館でゆっくり本を読んだり、勉強したりします。

ダンススタジオ  
Cheese!! 代表 鈴木 千草 さん

本学を卒業し、様々な分野で活躍しているOB・OGに学生広報大使がインタビューを行います。

今回は、静岡県吉田町でダンススタジオの代表を務めている鈴木千草さんに学生広報大使の出口さん、山田さん、八峠さんがインタビューしました。



## Q 現在のお仕事を教えてください。

ダンススタジオの代表をしています。インストラクターとして、レッスンを15クラス以上受け持っているほか、出張レッスンで幼稚園や小学校、特別支援学校でダンスの指導をして、学校現場でのダンス教育に関わっています。ほかにも、ダンス大会に創作作品を出したりと、振付師としての表現にも挑戦しています。また、骨盤エクササイズやファスティングといった視点から、アスリートのケアもやっています。

## Q 現在のお仕事に就くまでの経緯を教えてください。

最初は、「みんなが受けているから自分も受けなきゃ」という気持ちで航空系の企業の就活をしていました。そして、あと最終面接を残すのみとなった時に、ふと「このままこの道に進むのは何か違うな」、「私はもっと人とは違う世界に行かなきゃいけない」と思ったんです。大学では日本語教師の勉強とダンスしかやっていなかったから、日本語教師として海外に行く道しかないと思い、ニュージーランドに行き、日本語教師として働きました。

その後出産を控えて一時帰国した時も、企業で働く海外から来た研修生たちに日本語を教えていました。

そんな折、地元の方から、子どもたちに英語かダンスを教えてほしいと頼まれて、「じゃあ、英語は教えている人がいっぱいいるか

ら、私はダンスを」と思い、月に一回、ダンスを教えることにしました。それが人気となり、当初は1年間で終わる予定だったんですが、多くの子どもやその親御さんたちから「もっと続けてほしい」という希望があったので、私も大学のクラブ活動のような乗りで、ダンス教室を続けていくことにしたんです。

この時、かけ持ちで近所のバイリンガル幼稚園で英語系の仕事をしていたのですが、ダンス教室がどんどん忙しくなり、両立が難しくなったため、ダンス一本でいくことを決めたんです。

それからは本気でダンスと向き合っ、大きな舞台に出るという壮大な野望を持って挑み、色々なイベントや大会に出たりしています。

## —卒業した時からダンサーを目指していたわけではなかったのですね。

そうですね。趣味としてのダンスは続けようと思っていたんですが、職業にするのは無理だと考えていました。でも、「絶対にダンスをやった方がいい」と夫に背中を押されたこと、大学のジャズダンス部時代の先生から「10年続けたことはプロに近づくから、10年続けなさい」と言われたことも記憶にあり、ダンスを仕事にすることを決めました。

## Q どうして県立大学の国際関係学部に入学しようと思ったのですか。

中学生の頃から世界に羽ばたく人間になりたいと思い、その手段のひとつとして、日本語教師になりたいと思っていたからです。高校生の時に日本の事を知らない海外の人たちに、日本語教師という仕事を通じて、日本の文化・伝統を伝えられることを想像してわくわくし、いっそう日本語教師になりたいと思うようになりました。また、小さい頃から続けていたダンスもしたいと思っていたので、

ダンス部のある県立大学の国際関係学部を決めました。

国際関係学部では日本語教師になるための勉強をして、来日したアメリカ人中学生や外国人に日本語を教えるボランティアをしていました。

## —海外志向が強かったのですね。

最初はずっと海外で生活して地元に戻るつもりはなかったんです。でも、日本に戻ってから、地元の中学生をオーストラリアのホームステイに引率するなど、地元においても国際交流を経験させてあげられることに気がきました。私はいろいろな国を見てきましたが、日本はとて平穏だし、今は、海外ともすぐ繋がるので、地元の良さを感じ、仕事を続けながら、海外に出るチャンスがあればそれを掴む、という生き方がいいと思っています。

## Q 大学時代の思い出をお聞かせください。

2年生の時、ジャズダンス部に新入生をいっぱい入れようと、入学式のクラブ紹介の時に、当時CMで流れていた踊りを再現しようと部員に提案しました。その踊りにクラブ勧誘のナレーションを入れて新入生に披露したら、とても盛り上がり、そして本当に多くの新入生が入部してくれた時はとても感動したし、誰もやらなかったことに挑戦してよかったという経験ができました。

また、英語のスピーキング力をつけるため、ESS(英会話クラブ)にも所属していたのですが、スピーチコンテストに参加した時



には、他の人がやらないような、まるでショーのような派手なパフォーマンスを交えてアピールをしていました(笑)。

## Q 今後の夢を教えてください。

海外への思いが根底にあるから、海外のコンペティションやショーに出られるチャンスをつかめるように常に準備はしています。そして私たちのことを知らない海外の人たちにも私たちのダンスを見てほしいです。

また、ダンススタジオや私が関わる子どもたちには、自分の可能性を信じて進んでほしいと思っています。

特に今の子どもたちは、コロナ禍でいろいろな制限があるなかで生活しているの、自分の可能性を知らないまま成長してしまうことを心配しています。だから、ダンススタジオの子どもたちには、制限を気にせず思いっきり自分を出そうと、レッスンを通じて言っています。

子どもは将来何にでもなれるし、実際そう思って夢に向かって努力している子どもたちが、大人になって明るい世界を作っていくきっかけとなるよう、できる限りの手助けができればいいなと思っています。

## Q 県大生へのメッセージをお願いします。

これまで知らない自分に出会うために、いろんなことに挑戦してほしい。「これは私



写真左より、県大ジャズダンス部学生2名、鈴木 千草さん、学生広報大使の山田さん・八峠さん・出口さん

には向いてない」「これは私にはできない」と自分を枠にはめてしまう人も、そう思うだけで、やってみたら「そうではなかった」ということはいっぱいあると思います。

実際、私も本当はダンスを仕事にするなんて思っていなかったけれど、やってみたら色々な経験ができ、たくさんの新しい自分に出会えました。だから、皆さんも自分にリミットを設けずに、いろいろなことに挑戦してみてください。

鈴木 千草 (すずき ちぐさ)

2006年国際関係学部卒業

卒業後、海外、国内で日本語教師を務めた後、2010年に吉田町にダンススタジオCheese!!を設立。現在、ダンススタジオの代表・振付師・ダンサーとして、地域イベントから全国レベルのコンテストや大会の振付、幼稚園や学校での課外ダンス教育など様々な分野で活躍中。2019年には生徒をWORLD OF DANCE世界大会アメリカL.A.のchampionship出場に導いた。2022年FINAL LEGEND出場。2023年より県大ジャズダンス部の振付指導にも携わる。



インタビュー終了後、ダンスレッスンを受けました。

地震による大きな被害が出たトルコを支援するため募金箱を設置



学生が作成した募金箱



募金を呼びかける学生と教員

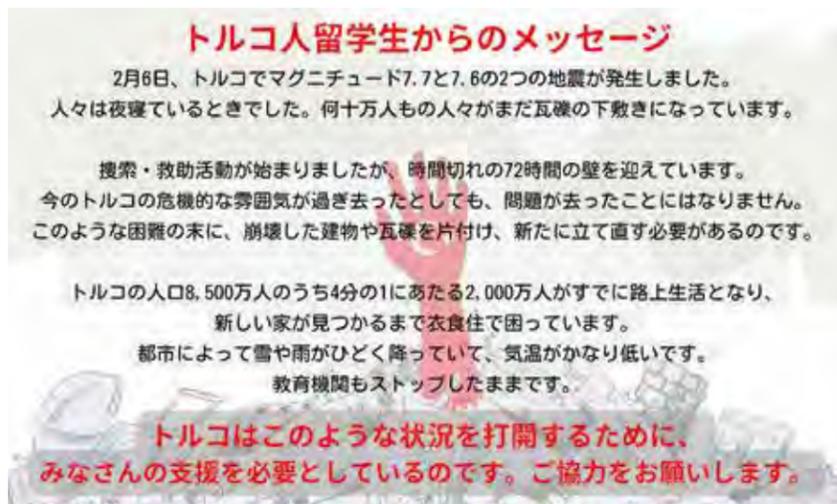


トルコ人留学生と、留学生をサポートする学生と教員

2023年2月6日に発生した、トルコ南部を震源とする地震により大規模な被害を受けたトルコを支援するため、2月8日に草薙キャンパスと小鹿キャンパスに募金箱を設置しました。本学はイスタンブールにあるボアジチ大学と交流協定を結んでおり、現在5人の留学生と1人の教員が在籍していることから、広域ヨーロッパ研究センターが中心となり、留学生や留学生を支援する学生らが募金活動をはじめました。

国際関係学部の佐藤真千子准教授は「トルコで起きた地震はひとごとではない。本学で学んだ教え子とも連携しながら募金活動などの支援を継続したい」と話しました。

なお、集まった募金はトルコ大使館に寄付されます。



2月末までに集まったお金を一度寄付したのち、3月も募金活動を継続して行います。

問い合わせ先  
国際関係学部 佐藤真千子

産業廃棄物処理施設見学会「有機性廃棄物からの高付加価値堆肥製造と持続可能な資源循環」

2022年11月30日、食品栄養科学部環境生命科学科(1・2年生)は、「食と環境」をキーワードに産業廃棄物処理施設の見学会を開催しました。株式会社アサギリの本社工場(富士宮市)と山梨工場(富士河口湖町)を訪問し、家畜排せつ物、食品残渣、下水処理場の余剰活性汚泥等の有機性産業廃棄物から高付加価値堆肥を製造する過程を学びました。朝霧高原地区は、国内有数の酪農地区であると同時に、有名な観光地でもあり、酪農業からの家畜排せつ物の適正な処理は、臭気や水質汚染の防止といった環境保全の観点から非常に重要な課題です。株式会社アサギリでは、有機性産業廃棄物を微生物の働きにより長期

発酵させることで良質な堆肥へと転換し、独自技術でペレット化することで、付加価値の高い(散布時の機械化が可能、臭気が極めて低い等)製品にして、持続可能な資源循環を実現しています。参加した学生からは「酪農業などの食料生産現場にも、廃

棄物処理技術が必須であることを認識した。」「資源を完全に循環利用することの難しさと重要性が良く理解できた」などの感想が聞かれ、「食と環境」に関する知識の向上につながる研修になりました。



本社工場(富士宮市)の原料保管施設にて



山梨工場の肥料(製袋)保管倉庫にて

グローバル地域センターの「自然災害研究部門」がスタート



写真1: 鴨川特任准教授(左)と招聘した長尾年恭客員教授(右)による富士山頂での地磁気予備調査の様子

グローバル地域センターは従来の地震予知部門を改組し「自然災害研究部門」をスタートさせました(部門研究員:鴨川仁特任准教授・楠城一嘉特任准教授)。

本部門は静岡県の地の利を生かし、高い山々の富士山や南アルプスから深い海の駿河湾まで、自然すべてを対象として地震・津波・火山・風水害といった自然災害に関する調査研究を行い、その成果を講演会等で披露します(写真1、写真2)。今後は、様々な災害に関する県民への情報発信も強化していきます。

こうした活動を促進させるために、学外研

究者を招聘し、学内からも尾池和夫学長、酒井敏副学長が参加しています。また、本部門の関係者に加え、県内の産官学の識者も参加する勉強会を定期開催して、県民の安全を守るための研究や情報発信について意見交換を開始しました(写真3)。



写真2: 楠城特任准教授による防災講座の様子



写真3: 勉強会の様子。尾池学長や酒井副学長も参加

将来的に本部門は、静岡県に住む誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりの学術的基盤を提供し、SDGsの課題でもある「誰一人取り残さない」社会の構築に貢献します。

山田静雄特任教授がスタンフォード大学公表の「世界のトップ2%科学者」のリストに掲載

米国スタンフォード大学が、科学研究論文で最も広く引用されている上位2%の科学者リストの更新を公開しました。この科学者リストは世界で最も権威のあるランキングであり、本学の山田静雄特任教授(大学院薬学研究院薬食研究推進センター長)が、1960年から2022年の基礎医学系(薬理学分野など)部門で世界のトップ2%に選ばれました。

山田特任教授は、静岡薬科大学4年生(1971年)から医薬品に関する薬理学研

究をスタートし、静岡県立大学薬学部や薬食研究推進センターにおいて、多くの薬学部生たちと約50年間、研究を続けてきました。特に、1970年代に米国留学により修得した放射性リガンドを用いた受容体結合測定法を駆使して、薬物の生体内標的たんぱく質である受容体の基礎研究から病態との関連性や創薬への応用などについて先駆的研究成果をあげてきました。

また、これまでの研究成果を欧文論文(約400報)として多くの国際学術誌に発表

してきました。こうした研究が世界の多くの医学・薬学系研究者から注目され高く評価されました。

■ 本学初の試み：DXを見据えたアクティブラーニング型COIL大学院講義



カリフォルニア大学デービス校 佐藤大輔准教授（スクリーン左上）によるCOIL講義

2022年7月6日、大学院薬食生命科学総合学府で、黒川洵子教授、坂本多穂准教授によるファシリテーションの下、米国カリフォルニア大学デービス校 (UCD) 医学部薬学科の佐藤大輔准教授による大学院COIL講義を実施しました。

本学では、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採択校として、上智・お茶の水女子大学と共同で COIL (Collaborative Online International Learning) プロジェクトに取り組んでおり、本講義はその一環として実施したものです。

世界的な大学ランキングの各分野で上位を占める名門UCDは、本学と2011年に大学間交流協定を締結しており、またCOILプロジェクトにおける米国連携大学でもあります。

講義では、心臓学における「Computational Pharmacology: コンピューターを駆使した薬理

学」と題して、コンピューターを使ったシミュレーションを実際に学生に体験させ、新薬開発などの分野において、コンピューターでの数値モデルを駆使したシミュレーションがいかに有効で役立つかを学びました。

具体的には、あらかじめデータを準備した各学生のPC端末を使って、UCD佐藤准教授による海外からのオンラインでの指導と助言に従いながら、Cardiac Action Potential [心筋活動電位] のシミュレーションやFast Pacing [ペーシング速度の変化] によるAlternans [交互脈] を確認し、薬を加えることによるAlternansの抑制、同じく薬を加えることでAPD Restitution [活動電位持続時間の回復] の傾きがなだらかになることを、各学生が自らの操作で確認することができました。

DX (デジタルトランスフォーメーション) によ

る技術革新が著しい近年、このような先進的な教育手法の導入は画期的な試みであり、今回の講義を成功させるため、2022年3月、事前準備のためUCD佐藤准教授が来日し、本学の黒川教授や坂本准教授らとともに綿密な計画が練られました。

そのため、シミュレーションの実施に当たっては、専門の数値解析ソフトウェア (MATLABやPythonなど) はあえて使わず、学生が挑戦しやすいようエクセルで代用することにより、講義後も学生が復習しやすく、さらに学生の今後の自信へとつながるように工夫が凝らされました。

こうした準備と検討の積み重ねにより、海外の最前線で活躍する日本人研究者から、日本にいながらにして、また英語ではなく日本語による指導を直接仰ぐことで、より高度で難しい内容に踏み込んだ、全員参加型のアクティブラーニング型COIL授業となりました。



黒川洵子教授によるファシリテーションで学生をサポート

■ 薬学部4年生を対象としたワクチン接種手技の実習

2022年9月27日、薬学部は薬学科4年生82名を対象として、ワクチンなどの接種の手技を学ぶ実習を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、わが国でもワクチン接種の担い手不足が問題となりました。現状では、薬剤師は厚生労働省が特例としてワクチンの投与を認める職種には該当していません。しかし、欧米諸国では薬剤師がワクチン接種を行うことが

一般的であり、わが国でも今後、薬剤師が接種の担い手となる可能性もあることから、実際のワクチン接種の手順を学びました。

この実習の様子はNHKに取材され、賀川義之薬学部長は取材の中で「法整備がなされてから準備をするのでは遅いので、必要とされたときにすぐに対応できる人材を養成したい」とコメントしました。



腕に見立てた練習用のパッドを使って針を刺す様子

■ 6言語の終末期（もしものとき、エンディング）ケア「みせてお話し」ノートを作成



各言語で書かれた終末期（もしものとき、エンディング）ケア「みせてお話し」ノート

本学教員と、静岡県在住の大学教員、医療従事者、医療通訳経験者らが、外国人の終末期ケアに繋がるよう6言語の終末期（もしものとき、エンディング）ケア「みせてお話し」ノートを作成しました。

言語は、ポルトガル語、スペイン語、フィリ

ピン語、中国語、インドネシア語、英語の6つです。日本語と各言語が併記されており、日本人と外国人と一緒に見て、話しができるようになっています。

作成に関わったのは、看護学、理学療法学、歯科衛生学、国際関係学、様々な語学、保育学を専門とする県内大学所属の教員、県内の病院や診療所などで働く医師、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカーなどの医療従事者、県内で医療通訳として経験がある翻訳・通訳者です。本学また県内の大学の卒業生、地域の民生委員の方もいます。地域に暮らすみなさんで作成しました。

本ノートは、家族や大切な人、医療や介

護の人と、終末期（もしものとき、エンディング）に関して話すときに、使えるよう作成しました。ノートを、互いに見ながら、互いの考えを知り、話し合うことができる、互いの大切なものを互いに大切にしようとするように作成しました。内容は、「もしものとき」、「エンディングに近いとき」、「どのようなケアを思い浮かべるか」等から始まり、「告知や医療の決定に関すること」、「希望する生活や大切にしたいもの」、「亡くなった後のこと」、「緩和ケアについての情報を得ているか」などです。

本ノートのダウンロードを希望される方は右の二次元コードからお入りください



■ <カリヨン書店×県大生×茶学総合研究センター> 草薙駅前イベントを開催

2022年10月16日、草薙駅南口イベント広場で、地元の店舗や本学茶学総合研究センターが協力し、草薙駅前にほのほの空間を創出する、「草薙ほのほのDAY」というイベントが行われました。

「草薙ほのほのDAY」は、株式会社県大文化通信(草薙キャンパス:カリヨン書店、小鹿キャンパス:バンビ書店)が主催したもので、本学学生も企画・運営に参画し、会場のレイアウトやBGM、来場者が楽しめるクイズの作成など、誰もが立ち寄りやすい空間づくりを演出していました。また本学茶学総合研究センターも出店し、来場者への呈茶サービスを行いました。

このイベントは、「ちょっと駅前でゆっくりできる場所があるといいんだけど…」などという声が、草薙駅や駅前商店街を利用する方からあったことをきっかけに、地域の皆さんが少しでもゆったり、ほっこり、ほのほのどできるような空間を駅前に作りたいと、県大文化通信が企画しました。

当日は地域の方や駅を利用する方を中心に約200名が立ち寄ってくれました。学生たちも茶学総合研究センターのスタッフと共に、静岡市玉川の若手茶農家さんが製造した煎茶、和紅茶、ほうじ茶の3種類を振る舞ったり、クイズコーナーで参加者に回答を説明したりと、イベントを盛り上げていました。

訪れた方からは「電車を待つ時間に余裕があったから、こういった場所があるとありがたい」、「学生さん頑張っていますね」など、このイベントに好意的な意見がたくさん聞かれました。

特にお茶を試飲した方からは、「お茶ってこんな美味しいんだ」「入れ方があるのを初めて知った。今度急須を買ってみます」などのコメントがありました。

主催者の県大文化通信は、「今後も様々な方と協力しながら、大学に限らず地域にとって必要だと思う活動を続けていければ」と話していました。



「リレー・フォー・ライフ (RFL) ・ジャパン2022静岡」を開催



小鹿キャンパス体育館横階段で「HOPE」の文字のルミナリエ

2022年11月12日、がん患者・家族支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ (RFL) ・ジャパン2022静岡」を本学との共催で開催しました。コロナ禍においては、感染拡大予防のため草薙キャンパスを会場にオンライン中心で実施しましたが、今年度、初めて草薙キャンパスと小鹿キャンパスの2会場を使用して、一部対面のハイブリッド形式で開催することができました。

草薙キャンパスをメイン会場として、経営情報学部の渡邊貴之研究室がZoomとYouTube配信を、サテライト会場の小鹿キャンパスでは、150人程の参加者が集い、

サバイバーズフラッグの作成、ウォーク、瞑想ナイト、特別講演などが行われました。すべてのイベントは小鹿キャンパスから草薙キャンパスに同時中継され、YouTubeで生配信されました。

午後1時の草薙キャンパスでの開催宣言の後、小鹿キャンパスで、事前に郵送やメールで送られてきた、がんサバイバーさんの手形によるサバイバーズウォークが始まりました。小鹿キャンパスには、静岡市薬剤師会のお薬相談会、WEB説法「ポストコロナを心穏やかに生きる」、Zoom座談会「わたしがリレーフォーライフに参加するのは」、特別

講演「がんになったらかかるお金とかけたらいけないお金」、「みんなで瞑想ナイト」が行われました。午後5時を過ぎ、両キャンパスには多くの思いが描かれたルミナリエで形取られた「HOPE」の文字が点灯し、一人ひとりの思いが夜空に浮かび上がりました。その情景は訪れた方やYouTubeを視聴した方の心を深く打ちました。午後7時過ぎからルミナリエセレモニーが行われ、天国に旅立った家族や仲間を偲びました。午後8時にはすべてのイベントを無事に終えることができました。



思いを込めた中庭のルミナリエ

本学学生が焼津産カツオを使った受験生応援メニューをホテルと共同開発



受験生応援メニュー「茶ちゃっと合カツ」

学生サークル「Food Labo (フードラボ)」が中島屋グランドホテルと共同で、受験生応援メニュー「茶ちゃっと合カツ」を開発しました。

今回のメニュー開発は、焼津のカツオをアピールする「勝男かつプロジェクト」(するが

企画観光局主催)の一環で、同サークルの学生たちは、「受験生を応援する」というコンセプトから、「忙しい受験生でも食べやすいもの」、「縁起の良いもの」を軸に「静岡をアピールできるもの」という要素を加え、メニューを考えていきました。そして、中島屋グランドホテルの料理長の協力により、試作を重ね完成したのが、この「茶ちゃっと合カツ」。本県産の粉末茶を混ぜた衣であげたカツオのカツを蒸しパンではさみ片手でも「茶ちゃっと」食べられるようにしました。また、ゲン担ぎとしてソースはトマトソースとヴィシソワーズソースの「紅白」にし、カツのタネになり節を混ぜて香りづけをする技術を取り入れるなどの工夫をしました。

フードラボ副代表の辻凌希さんは、「受験生の皆さんが、この商品で、忙しい日々に一息ついてもらい、そこからもうひと踏ん張りしてもらえれば嬉しいです」と述べました。



フードラボの学生たち

小鹿キャンパスで「ウクライナ&ロシア こども絵画展」を開催



展示風景

2022年10月31日から12月5日まで、「ウクライナ&ロシア こども絵画展」が小鹿キャンパスで開催され、両国のこどもたちの絵画が計80点展示されました。

この展示を企画した短期大学部こども学科の藤田雅也准教授は、「世界情勢だけに目を向けるのではなく、いろんな国に住む子どもたちが素直な思いで絵を描いている。そういう子どもたちの日々のかけがえのない姿を多くの方々に見ていただき、心に何か抱えていただけたら嬉しい」と語りました。



作品を鑑賞する学生たちと藤田准教授

国際学生寮発「異文化交流イベント～緑茶の美味しい淹れ方と飲み方を知ろう～」を開催

2022年7月25日、草薙キャンパスの学生ホール地下にある多目的ホール1にて、異文化交流「緑茶の美味しい淹れ方と飲み方を知ろう」を実施しました。

交換留学生、富学寮生など10名が参加し、茶学総合研究センターの中村順行セン

ター長から、日本茶の特質について説明がありました。

また、日本茶インストラクターの亀岡葉子さんからは、急須を用いた日本茶の美味しい淹れ方を目の前で実演していただきました。「私は一煎目が甘くて好き!」「僕は二煎目が

すっきりしてお菓子とも合って好き」などとそれぞれが感想を述べ、同じお茶を使い温度や淹れ方による、味と風味の変化を楽しみました。



実際にお茶の淹れ方を体験する学生たち

■ 剣祭、橘花祭レポート

2022年10月29日(土)、30日(日)の2日間  
にわたり、草薙キャンパスで第36回剣祭を開  
催しました。今年は「Re:Restart〜Piece of  
Peace〜」というテーマで、感染症対策を徹  
底した上で、3年ぶりに対面で開催し、多く  
の方々に来場いただき2日間とも賑わいを  
見せていました。

剣祭実行委員が主催したスポーツフェス  
ティバルやクイズ大会、ロッチ・ロングロン  
グによるお笑いライブをはじめ、クラブ・サー  
クル等によるライブやパフォーマンスなどを行  
い、来場者を楽しませていました。また、ユニ  
バーシティプラザの模擬店には学生が作っ

た軽食等を買求める人で終日にぎわって  
いました。

心地よい秋晴れにも恵まれ3年ぶりの剣  
祭は大盛況のうちに幕を閉じました。

また、11月12日(土)・13日(日)には、同じ  
3年振りに短期大学部で橘花祭が開催さ  
れました。今年は「connect 県短」というテ  
ーマで、新型コロナウイルス感染症対策のた  
め、初日を学内関係者への公開、2日目を一  
般公開日として入場者を分散させて開催し  
ました。

3年振りの開催であり、橘花祭を経験して  
いる学生がいない中、学生それぞれが試行

錯誤して、模擬店や展示を作り上げました。  
開催に至るまで苦労もありましたが、友人や  
保護者、地域の方々などが来場されて楽し  
んでいる姿に、学生たちも充実の表情を浮  
かべていました。

コロナ禍で人との繋がりを作るのが難し  
い中、橘花祭を機に学科・学年の垣根を越  
えて関係性を築けたことは、学生にとって貴  
重な財産となると思います。

当日、剣祭・橘花祭にご来場いただきま  
した皆様、ご支援いただいた関係者の皆様、  
誠にありがとうございました。



剣祭の様子



橘花祭の様子



**令和4年度 学位記授与式**  
(卒業式・修了式)  
開催日 令和5年3月17日(金)

**令和5年度 入学式**  
開催日 令和5年4月7日(金)

学位記授与式・入学式を次の日程で開催いたします。

開場 午前9時10分  
着席 午前9時45分  
開式 午前10時  
会場 グランシップ大ホール 海  
静岡市駿河区東静岡2丁目3-1(最寄駅 JR東静岡駅 徒歩5分)

※予定の変更が生じる可能性があります。  
最新情報を本学ホームページでご確認ください。

問い合わせ先 TEL054-264-5009(学生室)

# Beyond the World



静岡県立大学の国際交流

今号の「はばたき」から新たに国際交流ページ「Beyond the World」が始まります。  
国際化が進む中、本学が取り組む施策についてご紹介します。

## 静岡県立大学の国際交流とは？

国際交流センター長  
澤崎 宏一 教授

広く国際的な分野で活躍できる人材の育成を図り、併せて、国際的に開かれた大学と  
なることを理念として、開学以来、海外の大学等と国際交流を進めています。



### 3つの視点からグローバル化を目指しています



#### 教育

- 国際水準の教育の提供
- 交流大学等との緊密な関係の構築
- 学生の海外派遣のさらなる拡充 など



#### 研究

- 研究者の交流のさらなる発展
- 研究情報発信のさらなる促進
- 研究環境および研究支援体制の整備



#### キャンパス環境

- グローバル化を促進する組織・人的体制の整備
- 外国人教員及び研究者の受入支援体制の整備
- キャンパス内の文化多様化の促進 など



●グローバル【global】：世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。包括的。「一な視点」 出典：デジタル大辞泉(小学館)

## 世界とつながる教育体制

海外21ヶ国の学校と交流協定を結んでいます。

交換留学や語学研修といった学生交流から教員の研究交流まで様々な交流を図っています。

協定校各国(2022年12月現在) ※協定校について詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。

アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、カナダ、スペイン、タイ、大韓民国、中華人民共和国、  
ドイツ、トルコ、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、マレーシア、モルドバ、ロシア



### 協定校紹介

### Partner school introduction



ドイツ

#### ブレーメン州立経済工科大学

ブレーメン州立経済工科大学は1982  
年に創設し、歴史あるハンザ同盟都  
市ブレーメンにあります。同校は世界  
の百以上の大学や数多くの地域企業  
と協定を結び、研究やインターンシップ  
等で密接に連携しており、静岡県立  
大学の理想的なパートナーです。

神村 俊貴

国際関係学部 国際関係学科 3年  
[留学期間]2022年4月~9月



#### 外国人交換留学生紹介

こんにちは私はレマン・パウルです。ドイツのブ  
レーメン経済工科大学から交換留学生として、  
2022年10月から静岡県立大学にきています。こ  
の半年間、先生方をはじめ、たくさんの方に助けて  
いただきました。県大生のカンパージョンプ  
ナーや他の留学生の皆さんがとても優しく、いつ  
でも歓迎してくれるので、本当に感謝しています。静  
岡で過ごして本当に良かったと思います。いつかド  
イツに来る機会があれば、ぜひ美味しい食べ物や  
景色の良い旧市街に行ってみてください。特に  
デュッセルドルフとブレーメンは観  
光地としてお勧めです。

Lemann Paul

Applied Business Languages and  
International Management 4年  
[留学期間]2022年10月~2023年3月



【国際交流・留学】  
詳しくはコチラ！



To be continued >>> 次回の協定校紹介もお楽しみに！



国際関係学部 米野みちよ教授

**一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。**

大学院ではフィリピンの先住民の民謡の研究をしました。大学卒業後、フィリピンで民族音楽を使った教会音楽の実験的な試みをしている研究所に留学し、先住民の讃美歌に出会ったのがきっかけです。先住民の人々は、フィリピンという国家の枠組みの中に生きながらも、マニラ中心の主流文化に流されることなく、独自の文化を守っています。

その後、フィリピンの永住権を得て、外国人として子育てをしました。そこから、フィリピンの日本人、日本のフィリピン人など、両国の間を往き来する移民の研究を始めました。彼らは、外国の地で、様々な生存ストラテ



ジーを駆使して生きています。

先住民や移民など、マイノリティである人たちは、国家というシステムの中で、時にはそれに順応し、それを利用し、また、時にはそれを無視したり逆手にとったりして、生きています。その知恵やバイタリティを明らかにすることに関心があります。

**一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。**

EPA（経済連携協定）の枠組みで東南アジアの看護師や介護士を受け入れる制度は、かなり急いで作られたため、課題がたくさんあります。より合理的かつ関係者の満足度の高い制度とするため、各プロセスでのデータのファイリングを提唱しています。帰国後を含む長期的な視野も重要です。これは技能実習や特定技能で介護士を受け入れる制度の基盤にもなります。

貴重な資料のアーカイブ化にも関心があります。先住民の民謡の音声のデジタル化や書き起こしを行いました。また今から 約90年前にフィリ

ピン在住の日本人が撮影した映像50本と、その関連資料を日比米の研究者たちと共同でアーカイブ化するプロジェクトも主宰しています。フィリピンの日系人や、当時フィリピンに進出していた日系企業（キッコーマン、サントリー、アサヒビール等）の方々にも見ていただきたいです。私は歴史家ではありませんが、日比両国の、研究者や市民の方たちを橋渡しすることは自分の使命だと思っています。

**一ゼミ指導をしているなかで、学生の成長を感じるのどのような時ですか。**

学生たちは「打てば響く」力を秘めていると思います。ゼミでは彼らの関心のありかを聞きながら、こちらも頭をフル回転させて何か役に立ちそうなネタがないか探し、コメントし、文献や、時には関連の映画を紹介したりします。みなさん、そこから自分たちで、どんどん文献を読み、興味の輪を広げ、知の世界で遊んでいきます。それを楽しそうに語る姿に成長を感じますし、その過程を共有できることは喜びです。

STUDENTS' VOICES

国際関係学部3年 内藤由唯さん



**一ご自身から見て感じる、米野先生の研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。(例：研究分野、先生や先輩との関係等)**

自分の興味ある分野について学ぶことが

できることが米野先生の研究室の魅力だと感じています。研究する中で、研究方法など悩むことがあると、先生や他のゼミ生のみんなと一生懸命に考えてくれるため、とても楽しく学ぶことができます。

**一興味を持った研究テーマについてお聞かせください。**

私は現在外国人労働者について研究したいと思っています。その中でも、外国人労働者が自分たちの国に残してきた子供たち、一緒に連れて来た子供たちについて、または外国人労働者が受ける虐待などの問題、

そしてそれをサポートする団体について調べたいと考えています。

**一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。**

私はゼミの活動を通して自分の興味のあることを研究する楽しさを知ることができました。なので、大学を卒業した後も、様々なことに興味を持ち、多くのことを学んでいきたいと思っています。また私は地元で働くことを目標にしており、お世話になった方々に貢献できる仕事に携わりたいと考えています。

大学院 国際関係学研究科1年 張 填冲さん



**一ご自身から見て感じる、米野先生の研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。(例：研究分野、先生や先輩との関係等)**

一番魅力的なことは授業の内容が面白いことだと思います。東南アジア伝統文化分野の授業では音楽やダンスなど、言葉だけ

では理解しにくい内容が出てくる場合があります。そのような時には、米野先生がビデオを流してくれたり、リズムに合わせて手を叩いてくれたりして理解を助けてくれます。また、授業以外の文化や音楽についてのイベントがあるときは、先生が研究室の学生を誘って体験させることもあります。

**一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。**

研究テーマは中国のストリートダンスの反逆性についてです。ダンサーとして、私はこの数年間、中国のストリートダンスやヒップホップカルチャーの変化を感じています。政策の変化によって、若者たちの表現

の自由、またそれとつながる若者自身の意識も変化しています。それらを明らかにするために、今の研究テーマを選んで研究を行っています。

**一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。**

現在の目標は、修論をできるだけうまく完成させることと、卒業までに日本語のスピーキングを上達させ、英語でも TOEIC で 850 点をとることです。卒業後の進路は、進学が就職かで迷っているため、まだ決めていませんが、まずは自分が興味のある若者文化に関する就職活動に参加してみようと思います。



よねの 米野みちよ 教授

2011年にフィリピン大学フィリピン研究プログラム博士課程を修了し、フィリピン大学アジアセンター、東京大学東洋文化研究所を経て2021年より本学に奉職。  
音楽学、文化人類学、移民研究、アジア研究(フィリピン研究)を専攻し、フィリピンの先住民の音楽と文化、在日フィリピン人の音楽活動、東南アジアの看護師・介護士の国際移動に関する研究など、アジアのマイノリティの文化の研究で知られている。

米野先生研究室  
6名(学部生5名、院生1名)

# 活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



**お名前** 松岡 毅さん  
**卒業学部** 薬食生命化学総合学府  
薬食生命科学専攻  
(2016年3月修了)  
**勤務先** ウエルシア薬局株式会社

## Q1.現在の仕事について、どのような内容がお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じる時はどのような時か、お聞かせください。

薬剤師採用の仕事です。ウエルシア薬局は、調剤併設ドラッグストアとして「日本の医療インフラ」になりたいと考えています。薬剤師の働き方が激変する昨今において、地域の方が最初に相談する医療従事者が薬剤師になる時代です。ウエルシアの薬剤師に相談して良かったと思っただけ

ような、地域医療の重要性も伝えていきます。採用に関わった薬剤師から地域の方の安心に貢献できた話を聞くことがやりがいでもあります。

## Q2.大学生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

研究室での活動です。長く大学に通ったこともあり、先生方の様々な話を聞く機会に恵まれました。研究は、なかなか成果が出ずに苦しいこともありました。先生方のご助言により、発想を柔軟に変える大切さも学ばせていただきました。薬剤師として働くことを決めた際も、薬だけの視点ではなく、様々な可能性を考える発想力は研究室で培った力だと思っています。

## Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

静岡に来ることができたことです。熊本から静岡に引越し、一人暮らしを始めました。静岡の温和な気候と県民性が魅力的でした。また、薬学以外についても広く学べる環境も良かったです。在学時には、NGOサークルに入っていました。国際関係学部や経営情報学部など、自分にはない意見で議論を交わし、広い視野を意識するきっかけとなりました。薬学の知識はもちろん、医療になる意識を養う場としても成長させてい

ただきました。

## Q4.今後の目標や課題について教えてください。

災害に強いドラッグストアを創りたいです。ドラッグストアには、薬剤師をはじめとする多くの専門家や、薬、食品、衛生材料などの資材、広い駐車場や全国に店舗があり災害時に必要なモノが揃っています。現状の災害医療体制に加え、地域を支え続けられるお店作りをウエルシアで行いたいと考えています。PhDLSコースに参加し、薬剤師にやれる可能性はまだ多いと感じました。新しい薬剤師の働き方を創っていきたくです。

## Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

学生には学生にしかできないこと、社会人には社会人にしかできないこともあります。今しかできないことに、恐れずに挑戦してほしいです。

今後は人口減少や高齢化、経済不安や環境問題など課題が山積しています。今しかできないことに挑戦し、数多くの経験を経ることで、まだ見えていない課題にも柔軟に対応できるようになると思います。県大は様々な価値観を養える環境です。たくさんの方のヒト・モノ・コトに関わってください。

# 活躍する在学生

The current student who plays an active part



**お名前** 山本 怜奈さん  
**在籍学部** 短期大学部 社会福祉学科  
社会福祉専攻 2年  
(2020年入学)

## Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容がお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。

私は現在、静岡県富士市の観光PR大使を務めています。富士市の魅力を国内外の人に伝えるため、イベントを通して富士市のPRを行なっています。最も魅力を感じる点は、人との繋がりができることです。イベントを通して私を知ってくれた方が声をかけてくれることや、私のPRをきっかけに富士市に興味を持ってもらえるなど、自分の言葉

と行動が富士市に貢献できていると実感しています。これからは観光PR大使を通してできた繋がりを大切にしていきたいと思っています。

## Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

HPS(ホスピタル・プレイ)の第一人者でもある松平先生の元で福祉について学びたいと考えたからです。また少人数制であることや、福祉と保育の両方を学ぶことができるのも魅力の1つだと思います。

## Q3.私生活や学業と活動はどのように両立されていますか。

私は電車通学をしているため、通学時間をうまく活用しています。すきま時間を有効活用することで無理なく、学業とも両立できていると思います。

## Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。

観光PR大使の活動をするにあたり、情報の正確性には気をつけています。自分が情報の発信者である自覚を持つことはもちろん、言葉使いや伝え方など、時には手話も取り入れながら、私だからこそできる情報発信の方法を日々模索しています。また観光

PR大使をするにあたって、活動をスムーズに行えるようサポートして下さる富士市役所の職員の方や応援してくれる方への感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思っています。

## Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。

富士市観光PR大使として、一人でも多くの人に富士市の魅力を知っていただくことや、私は社会福祉学科で福祉や保育について学んでいるため、福祉の視点から見た富士市の強みなどこれまでにない視点からも富士市の魅力を伝えていきたいと考えています。また将来は、短大で学んでいる知識を存分に活かし、地元静岡に貢献できる人材になりたいです。

# 産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

## 経営情報学部 岩崎教授がブランディングに関わる「アメラトマト」欧州の農業展示会で最高評価を得る

経営情報学部 岩崎邦彦教授がブランディングに関わっている(株)サンファーマーズ(静岡県駿河区)の「アメラトマト」は、日本国内だけでなくスペインでも生産拠点を増やして世界へも進出しています。また、2022年4月にはドイツ・ベルリンで開催されたFRUIT LOGISTICA※1の【Innovation Award2022】※2に出品され、「アメラトマト」の高い品質ももちろんながら、欧州にはこれまでなかった「高糖度トマト」というジャンルでのブランディングの革新性もあり、最高賞であるGOLD AWARD賞を受賞しました。このことについては、岩崎教授の著書「世界で勝つブランドをつくる」(日本経済新聞出版)にも詳しく書かれていますが、「アメラトマト」が世界でも高い評価を受けるまでに、トマト生産者(サンファーマーズ)の方々の「アメラトマト」の高品質化への取り組みと同時に、岩崎教授が関わりブランドの軸をぶらさずに常にブランドを磨き続ける戦略がありました。

※1 FRUIT LOGISTICA:欧州を代表する大規模な農業展示商談会。※2 Innovation Award:FRUIT LOGISTICAで開催のイベント。毎年約100商品のエントリーがある。

## 「アメラトマト」のブランドづくりを行っている岩崎教授へインタビュー

今回は、最近の著書やニュース記事では語られていない岩崎教授の生の声を聴くため、インタビューを行いました。

### トマト生産者の方々と産学連携のきっかけはなんですか?

2005年頃、静岡県が開催したマーケティング戦略に関する講座で研究成果の発表をしていたところに、トマト生産者の方が参加されていました。そこで高い農業技術により高品質な商品を作るものの、安く買い叩かれてしまう状況を打開するためにはマーケティングとブランディングの知識が必要だと思われて、私の研究室へお見えになったのが始まりです。

### 約18年間、一緒に連携活動を続けられた理由はなんですか?

トマト生産者の方々が一貫してぶれずに、「チャレンジと進化」の精神をもって、提案の多くを実行してくれていることが大きいと思います。生産者の方々の「アメラトマト」の高品質化へのこだわりが、ブランドづくりの大切な土台です。ブランドづくりにあたっては、互いにいつも同じベクトルを共有するために時間をかけています。生産者の方々は自主的に何度も繰り返し私の研究成

果発表の場に参加してくれます。海外進出のきっかけは、2015年の食をテーマとしたイタリア・ミラノ国際博覧会への参加なのですが、国内だけでなく世界も目指そうという、生産者の方々の前向きな姿勢に私も非常にやりがいを感じています。実践と研究がwin-winの関係になっていることが連携活動継続のポイントかもしれません。

## 著書にもありましたが「海外展開を見据えたブランドのネーミング」、「ロゴマークデザイン」、「値段を下げずに価値を上げる販売戦略」など、岩崎教授の多彩なブランド戦略は先々を見越して展開しているように感じます。参考としたブランドはありますか?

好きなブランドをあげるとするとAppleやソニーですね。Apple製品のシンプルなデザインや、創業当時のソニーの「電化製品を作るのではなく、ソニーというブランドをつくる」という考え方には共感しています。とはいえ、他のブランドを真似しようという発想はなくて、先行事例がないところへ挑戦していくからこそ、ブランドになるのだと思います。その商品のマーケットが実際にあるかどうかの事前の調査は行いますが、ブランド戦略自体は独自に構築しています。そもそも、成功事例を真似しても、その成功事例には敵いません。たとえば、ヨーロッパの生食用トマトのリーダー国はシステムティックにトマトを大量生産するオランダですが、アメラトマトはオランダの逆方向をいく戦略をとっています。ブランドには独自性が欠かせません。誰もが簡単に真似できるものは、ブランドにはなりません。「楽あればブランド無し、苦あればブランド有り」だと思います。

## 企業や団体等が岩崎教授の研究に興味がある場合は、どのような形で産学連携活動が可能ですか?

私は「マーケティングで地域の元気に貢献したい」と考えています。行政や企業などからの受託研究の実績もあります。地域の観光、中小企業、農業、病院、学校など、地域を軸にした分野でマーケティングによる問題解決の連携活動ができると 생각합니다。

## 岩崎教授がセンター長を務められている、地域経営研究センターの活動について教えてください。

地域経営研究センターでは、本学の教員が主となってビジネスセミナーや社会人学習講座を年間30講座ほど開催し、社会人の学び場を作っています。各講座は基礎的な知識の学習機会としてだけでなく、本学の教員が行っている最新の研究成果を教育コンテンツとして地域還元することも目的としています。詳しい活動内容は、地域経営研究センターのホームページをご覧ください。

本学教員との共同研究や受託研究、学術指導、奨学寄附金にご興味がありましたら、下記のお問い合わせ窓口まで、お気軽にご連絡ください。

### お問い合わせ窓口

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号  
静岡県公立大学法人 静岡県立大学 地域・産学連携推進室  
TEL:054-264-5124 Email:renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

本学教員の研究内容に関する情報は右図の二次元バーコードからもご覧いただけます。



# はばたき寄金からのお知らせ

## 「第18回学生スピーチコンテスト」、「第26回文芸コンクール」の開催

はばたき寄金主催の「第18回学生スピーチコンテスト」が10月30日に開催され、  
「今、学生の自分が考えなければならないこと」をテーマに4名の学生がスピーチを行いました。  
また「第26回文芸コンクール」を行い、詩11編、俳句55句、イラスト4点、写真12点、エッセイ・小説3編の応募があり、  
各部門の受賞は次のとおりとなりました。



文芸コンクール各部門受賞者



学生スピーチコンテスト受賞者

### 第18回学生スピーチコンテスト受賞結果

部門	受賞	氏名	所属	タイトル
スピーチコンテスト	最優秀賞	植野華乃音	国際関係学部	Waste of treasure
	優秀賞	菰田 昌生	経営情報学部	今、学生の自分が考えなければならないこと
	優秀賞	瀬畑 唯杏	薬食生命科学総合学府	性別による固定的役割分担におけるアンコンシャス・バイアスの認識
	努力賞	小塚 康平	薬食生命科学総合学府	歯を大切にしよう〜あの頃を思い出し今考えること〜

### 第26回文芸コンクール受賞結果

部門	受賞	氏名	所属	作品名
詩	優秀賞	川村 ゆい	食品栄養科学部	憧れ
	優秀賞	大場 有喜	国際関係学部	神社の秋
	佳作	菰田 昌生	経営情報学部	表情
	佳作	大場 有喜	国際関係学部	やっちゃんの窓枠
俳句	努力賞	菰田 昌生	経営情報学部	体操スポンに便所草履
	最優秀賞	佐野 茜	国際関係学部	田んぼ
	優秀賞	栗本 和香	国際関係学部	登山
	優秀賞	佐野 茜	国際関係学部	家路
	佳作	佐野 茜	国際関係学部	桜
	佳作	坂井田 夢	経営情報学部	公園の時計台です
	佳作	菰田 昌生	経営情報学部	扇風機
	努力賞	岡村 悠真	薬学部	花火
	努力賞	岡村 悠真	薬学部	秋風
	努力賞	坂井田 夢	経営情報学部	玄関のおはなし
	努力賞	大場 有喜	国際関係学部	北陸の冬
	努力賞	藤野 紗代	薬食生命科学総合学府	秋の学校帰り
イラスト	努力賞	栗本 和香	国際関係学部	ふるさと
	優秀賞	堀内 泉美	事務局	カーニバルの支配人
	佳作	川村 ゆい	食品栄養科学部	魔法使いと弟子の日常
	努力賞	須崎 耀太	国際関係学部	静岡復興への道
写真	努力賞	小野 創来	国際関係学部	三保の松原
	優秀賞	李 江華	国際関係学部	Fearless
	佳作	中山雄太郎	薬学部	夜明けの富士
	佳作	宮村由起子	事務局	黄金色の絨毯
	佳作	池田 優菜	国際関係学部	人生
	努力賞	藤野 紗代	薬食生命科学総合学府	夜桜
	努力賞	星野 智哉	薬学部	並木道
	努力賞	吉岡 正宗	国際関係学部	Dawn
	努力賞	堀内 泉美	事務局	夏の川遊び
	努力賞	杉浦 久遠	国際関係学部	登校
	努力賞	山下 晶朱	薬学部	あお
	エッセイ・小説	最優秀賞	大場 有喜	国際関係学部
優秀賞		菰田 昌生	経営情報学部	北へ北へ
佳作		大場 有喜	国際関係学部	たぶんずっとこのまま

皆様からのご寄付に御礼申し上げます。(敬称略、寄付日の順)

(令和4年1月~12月分) 静岡県立大学後援会、創星会

## 図書館 だより

## 図書館で一次情報をたぐり寄せ、 思考過程を磨く

短期大学部附属図書館館長の仲井と申します。

突然ですが、皆さんは歯磨きの際にデンタルフロス(糸ようじ)を併用していますか?健康情報のエビデンスとして確度の高いシステマティックレビュー(SR)を検索すると、デンタルフロスの効果に関するSRは多く存在します。ただし、どれもむし歯予防効果、歯垢除去効果、歯肉炎予防効果について、ほぼ否定的な見解です。にもかかわらず、私は歯科医師としてデンタルフロスの使用を患者に勧めてきました。それはなぜか?SRで効果が支持されなくても、自分の豊富な臨床経験では、確実に「効果がある」という「肌感覚」があるからです。私はけっして科学を軽視してはおりません。科学(SR)と、臨床家としての肌感覚にギャップが見つかった場合、なぜそのような事象が生じたのか、それをさらに追究し矛盾の種を発見するのが一段階上の科学者であり臨床家だと考えています。SRの結果を鵜呑みにするのではなく、SRの記述内容を咀嚼しこの目で意図を確かめ、そこで選択された学術論文を一つ一つ深掘りし、一次情報をたぐり寄せます。ちなみに私はデンタルフロスの矛盾の種を見つけました。私たちは科学に使われるのではなく、使う側として、そのギャップが生じた要因を自分の頭で推論し、その情報を自分の臨床判断の根拠に落とし込むための思考を巡らせて最終判断に至ります。私にとって図書館はプロの感性を研ぎ澄ますための絶好のツールです。

### 私の一冊の本

紹介者 食品栄養科学部 教授 谷 晃  
紹介図書 JK、インドで常識ぶっ壊される



著者: 熊谷はるか  
出版社: 河出書房新社  
出版年: 2021年12月  
ISBN: 9784309030166  
請求記号: 292.5:JKu 33

大学生の頃、冒険ものの本が好きでよく読みました。当時の趣味がオフロードバイクや登山でしたので、バイクでツーリングして世界を周るライダー、例えば賀曾利隆さんや、冒険家兼登山家の植村直己さんの冒険記が心に残っています。学生時代、何かしないと、という焦りのようなものを感じ、アフリカサハラ沙漠へ植林に行くなどしました。友人にも海外を目指す人が多く、感化されたようです。今の

自分があるのは、こういった若い頃の冒険心(と言えませんが)が基盤となっていると思います。

ここ2年半のコロナ禍で、大学生の冒険心やチャレンジ精神が薄れていると感じています。これは行動が制限される中で、思い切った行動をとると、ややもすれば非難されるような風潮があり仕方ないことです。しかし、ポストコロナの新時代を迎えようとする中で、冒険心やチャレンジ精神を思い起こしてほしいと思います。

そのようなことを考えている中で、静岡新聞で紹介されていたこの本が目にとまりました。久しぶりに自分も冒険心を思い起こそうという軽い気持ちで購入して読みました。タイトルは読者の目を引くように奇抜ですが、文章はしっかりと書かれています。女子高生(JK)の著者の原稿に編集者が大きく手を入れて読みやすく書いているのかと最初は思ったのですが、あとがきを読むと、「出版甲子園」というコンペティションで史上初となる高校生でのグランプリを受賞したとのこと、納得し

ました。父親の海外転勤先がアメリカやヨーロッパだと想定していたのに、インドと聞いてちょっと落胆した著者ですが、すぐに順応します。インドのカースト制度を目の当たりにして、著者なりに人を尊重する気持ちを大事にすることに気づいていきます。著者は観察眼が鋭く、かつそれを丁寧な描写で分かりやすい文章で書いています。バックグラウンドの知識も豊富ですが、それをひけらかすことなくさらっと書いています。だれでもそうですが、海外に行くと知らない所を訪れなくなったり、現地の人と交流したくなったりと、冒険心が掻き立てられます。学生の皆さんの中で、コロナで行動がちょっと停滞し、気分が乗らないと感じている人は、この本を手にとってみてはいかがでしょうか?

なお、この原稿はマレーシアボルネオ島で書いています。気分が乗らなかつたおじさんも、海外に来ると好奇心が湧いてきて元気が出てきました。(2022年9月末)

# 奨学金授与式が行われました

本学では、有意義な学生生活を支援していくために、地元企業等の奨学団体の協力による各種奨学金制度を設けています。  
今年度は、地域の地元企業 11 社から計 31 名の学生が奨学金をいただきました。  
2022 年 7 月から 10 月までの間に奨学金授与式が執り行われました。

## 「万城食品奨学金」

- 食品栄養科学部 2年 大久保 夏月

オンライン

## 「TOKAIグループ富士山育英財団奨学金」 9月12日

- 国際関係学部 2年 NGUYEN THI THANH DUNG (ゲン・ティ・タン・ズン)
- 国際関係学部 3年 山口 舞葉
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 齋藤 開
- 国際関係学研究所 修士2年 季 駿

## 「静岡ガス奨学金」認定証授与式 7月4日

- 看護学部 2年 澤村 紀香
- 薬食生命科学総合学府 修士1年 増田 みゆ



## 「天野回漕店奨学金」授与式 7月27日

- 国際関係学部 3年 CAI HAO (サイ コウ)
- 国際関係学部 3年 SITI ROHMAWATI (シテイ ロフマワティ)



## 「村上奨学財団奨学金」授与式 9月16日

- 国際関係学部 2年 堀江 拓道
- 国際関係学部 2年 梅田 桃夏
- 国際関係学部 2年 工藤 花凜
- 経営情報学部 2年 原田 朱理
- 看護学部 2年 池沼 杏珠



## 「静清信用金庫奨学金」授与式 7月8日

- 食品栄養科学部 4年 鈴木 璃恩
- 経営情報学部 3年 瀨美 李咲



代表者のみ出席

## 「ロッキー奨学金」授与式 7月25日

- 薬学部 6年 櫻井 優珠
- 食品栄養科学部 2年 進藤 はるか (代表出席)
- 経営情報学部 2年 池田 周優

## 「自然の恵み財団奨学金」授与式 8月30日

- 食品栄養科学部 1年 上戸 鎖 光

### 地元企業等による本学学生への奨学金

奨学金名称	給付金額	支給期間	応募資格	令和4年度採用人数
万城食品奨学金	月額5万円	1年間	学部1年生又は2年生の日本国籍もしくは永住権を有する学生	1人
TOKAIグループ富士山育英財団	月額5万円	1年間	全学生（研究生、科目等履修生含む）	日本人3人、留学生1人
静清信用金庫奨学金	月額5万円	1年間	静岡県内出身の学部生	2人
静岡ガス奨学金	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	2人
ロッキー奨学金	年額20万円	一時金	静岡県内に在住もしくは勤務する勤労者の子弟で2年生以上の者	3人
東海澱粉国際交流奨学金	月額3万円	1年間	アジアからの留学生のうち修士または博士前期課程の大学院生	採用なし
天野回漕店奨学金	月額5万円	1年間	中国・東南アジアからの留学生のうち学部2～3年生	留学生2人
村上奨学財団奨学金	月額3万円	1年間	学部2年生の者	5人
エンケイ財団奨学金	月額2万円	1年間	学部生・大学院生・アセアン諸国からの留学生	日本人3人、留学生3人
自然の恵み財団奨学金	月額3万円	2年間	食品栄養科学部の1年生	1人
スルガ奨学財団奨学金	月額5万円	2年間	留学生で学部3年生	留学生1人
ピヨンス国際育英財団奨学金	月額1万円	1～4年間	留学生のうち学部1～3年生	なし
Sun&Sun総合保険奨学金	月額3万円	1年間	学部1年生の日本人学生	4人

## 「エンケイ財団奨学金」交流会 9月9日

- 薬学部 2年 神田 亜矢加
- 薬学部 4年 稲葉 真由
- 食品栄養科学部 4年 坂本 このみ
- 国際関係学部 1年 LE TI NGOC TRAM (レー ティ ゴック チャム)
- 国際関係学部 2年 GAMAGE MADUSHI THASHMILA THISARANI (ガマゲ マドゥシ タシミラ ティサラニ)
- 国際関係学部 3年 CHONG ZHE MING (チョン ジェ ミン)

## 「スルガ奨学財団奨学金」

- 国際関係学部 3年 MUHAMMAD FATIH RIDHO (ムハマド ファティ リド)

## 「Sun&Sun総合保険奨学金」

- 薬学部 1年 保坂 真緒
- 薬学部 1年 前田 諒子
- 国際関係学部 1年 佐藤 妃奈乃
- 看護学部 1年 長谷川 愛七

## 教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトニュース&トピックスからご覧いただけます。

	受賞者名	所属	受賞名
教員	尾上 誠良 教授	薬学部	2023年度日本薬学会学術振興賞
	徳村 雅弘 助教	食品栄養科学部	第30回日本臨床環境医学会学術集会 奨励賞 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団 クリタ水・環境科学研究優秀賞
	野呂 和嗣 助教	食品栄養科学部	環境科学会2022年会 最優秀発表賞 (富士電機賞)
	西村 有里 西山 裕那	薬食生命科学総合学府 食品栄養科学部	第30回環境化学討論会 SETAC賞 第30回環境化学討論会 Transtech賞
学生	中尾 初音	薬食生命科学総合学府	第37回老化促進モデルマウス (SAM) 学会学術大会 若手研究奨励賞
	荻野 加奈子	薬学部	第37回老化促進モデルマウス (SAM) 学会学術大会 大会長奨励賞
	小林 琢磨	薬食生命科学総合学府	13th International Conference on Environmental Mutagens (第13回国際変異原学会) Student and New Investigator Travel Awards
	磯部 亮太	薬食生命科学総合学府	第34回バイオメディカル分析化学シンポジウム 星野賞 優秀発表賞
	天野 由梨	薬学部	日本放射線影響学会第65回大会 優秀演題発表賞
	鈴木 崇志	薬食生命科学総合学府	環境科学会2022年会 優秀発表賞 (富士電機賞)
	石田 真穂	薬食生命科学総合学府	環境科学会2022年会 優秀発表賞 (富士電機賞)
	西山 裕那	食品栄養科学部	環境科学会2022年会 優秀発表賞 (富士電機賞)
	内田 亜美	食品栄養科学部	環境科学会2022年会 優秀発表賞 (富士電機賞)
	阪田 晟	薬学部	第47回日本医用マスケクトル学会年会 若手優秀ポスター賞
	高橋 沙也加	薬学部	第43回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 学生優秀発表賞
	千葉 裕菜	経営情報学部	第7回 学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会 優秀賞
	八木 詩穂子	経営情報学部	第7回 学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会 優秀賞
	岩谷 聡真	経営情報学部	第7回 学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会 優秀賞
	澤村 遥	経営情報学部	第7回 学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会 審査員特別賞
	団体	岡田 彩花 滝澤 有希 有馬 凜晴 西村 理菜	経営情報学部
小林 直央		薬食生命科学総合学府	「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第22回高山フォーラム 優秀ポスター賞
学生ボランティアセンター		学生ボランティアセンター	「小さな親切」実行章
食品化学研究室 生物分子工学研究室		食品栄養科学部	「Food Science and Technology Research (FSTR)」論文賞
茶学総合研究センター		食品栄養科学部	「Food Science and Technology Research (FSTR)」論文賞

※2022年6月～11月までに本学の公式ホームページに掲載依頼のあった受賞を掲載しています。※役職は受賞当時のものです。

## 教員人事

### ◆採用

氏名	所属	職名	就任日
渡邊 正悟	薬学部薬学科	助教	2022年9月1日付
清水 聡史	薬学部薬学科	助教	2022年9月1日付

氏名	所属	職名	就任日
梶山 千珠子	看護学部看護学科	助教	2022年10月1日付
長谷部 美紀	看護学部看護学科	助教	2022年10月1日付
横井 香織	グローバル地域センター	特准教授	2022年10月1日付

氏名	所属	職名	就任日
増井 昇	食品栄養科学部環境生命科学科	助教	2022年11月1日付

氏名	所属	職名	就任日
河本 小百合	薬学部薬学科	助教	2023年1月1日付

薬学部講師の菅野裕一朗先生が、2022年10月26日にご逝去されました(享年42歳)。ここに謹んでご冥福をお祈りします。  
看護学部助教の高木 静先生が、2022年11月25日にご逝去されました(享年47歳)。ここに謹んでご冥福をお祈りします。

### ◆昇任

氏名	所属	職名	就任日
藤森 敦之	言語コミュニケーション研究センター	教授	2022年10月1日付
小出 裕之	薬学部薬学科	准教授	2022年10月1日付
菱木 麻美	薬学部薬科学科	講師	2022年10月1日付
岸本 真治	薬学部薬科学科	講師	2022年10月1日付

氏名	所属	職名	就任日
永谷 実穂	看護学部看護学科	准教授	2022年11月1日付

氏名	所属	職名	就任日
稲井 誠	薬学部薬科学科	准教授	2023年1月1日付

## 教員活動評価における業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。令和4年12月19日、2021年度(令和3年度)の教員活動評価における業績優秀者13人に対し、学長表彰を行いました。

学 部 等	職 位	氏 名
薬学部 薬学研究院	教授	吉成 浩一
	講師	刀坂 泰史
	助教	志津 怜太
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	助教	寺田 祐子
	助教	菊川 寛史
	教授	吉田 真樹
国際関係学部 国際関係学研究所	准教授	塩崎 悠輝
	講師	飯野 光浩
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	教授	岩崎 邦彦
	准教授	永谷 幸子
看護学部 看護学研究科	准教授	永谷 実穂
	准教授	中澤 秀一
短期大学部	助教	名倉 一美

## 静岡県立大学おおぞら基金に寄付をいただいた皆様 (令和4年1月～12月)

(株)静岡県立大学販売協力会、(株)県大文化通信、山本一馬・山本早苗、原内玲子、市岡博次、平山洋、鈴木さやか、寺尾康、奈倉京子、看護学部後援会、山本学、佐藤真千子、永倉みゆき、小針進、鈴木千笑美、平岡美佐江、白石ひろみ、小林みどり、短期大学部後援会、杉本和美、北野嘉章、前野真由美、福島恭子、静岡女子短期大学・静岡女子大学同窓会おおとり会、三崎健太郎、渡邊聡、高畑幸、山口桃生、山中啓子、山本六三、古屋由樹子、(株)ユビテルプラス、寺尾康、浜瑞紀、松本英俊、中村芳則、田村正尚、山下勝之、(有)エスケューユーコミュニティサービス、石塚康義、佐藤真千子、経営情報学部後援会、食品栄養科学部後援会、岡部宏紀、岡部磨幸、静岡県立大学厚生保育専門学校看護1学科20期生同窓会、山本浩隆、林田貴則、狩野賢一、吉田建治、阪山博美、渡井和代、(株)ジャパンインベストメントアドバイザー、寺田美佐子、杉山久美子、薬学部後援会、国際関係学部後援会、安達栄里子 ※3千円以上、敬称略、寄附日の順、匿名希望19名

## はばたき

146号 2023年2月28日発行  
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 広報企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL/https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/

次号147号は2023年7月発行の予定です。

## ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

# 県大生応援キャンペーン!!

2023年 〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

4/1(土)~6/30(金)までに  
ご入校の方に  
5,000円分の  
クオ・カードを  
プレゼント! ¥5,000

※普通自動車で入校の方が対象です  
※限定解除の方は対象外とさせていただきます



古庄は  
特典がいっぱい

学科はオンラインで受講

再検定料一切不要

技能オーバー 3時限保証

※プラス11,000円(税込)で技能オーバー10時限まで保証します。

スケジュール無料作成

免許は取ったけどしばらく  
乗ってないから運転が不安で...

卒業生特典  
ペーパードライバー講習  
1時間無料  
※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みはフリーダイヤル 0120-155-168 携帯からでもOK ※チラシを見たとお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号  
TEL.054-261-1551  
FAX.054-264-0940  
http://www.flushyou.co.jp  
main@flushyou.co.jp



2023

# 成式

高品質でお求めやすい! 県内トップクラスの衣裳数!

## 振袖・男性袴 レンタル

【振袖レンタル一式】

55000,99000,143000,187000円

「2023年は価格をかなりお求めやすくしました」  
「着付け・美容・写真撮影も可能。※美容は先着順」

【男性袴レンタル一式】

38500円～「着付け・写真撮影も可能。」

静岡市の着物レンタル専門店

京都むらまつ

店舗 | 静岡市葵区馬場町25-2  
営業 | 9:30~17:00 (水曜定休)  
「来店予約制」  
電話 | 0120-144-081



2023年も便利な県大生向け卒業式袴  
6月頃から試着・予約開始予定

QRコードからホームページをご覧ください!